1. FX II ダイレクトコンバータ(ファイル-開くから直接 DXF を開く方法)及び FX II コンバータのパラメータ設 定を確認して下さい。



パラメータファイル設定ダイアログが表示されます。

パラメータファイル設定[DWG/	/DXF] 🔀
- 編集バラメータファイル名	
履歴① 指词	Ē (<u>R</u>) 登録(E)
	座標(<u>O</u>)
線幅₩/	モード(M)
線種(<u>P</u>)	寸法線(<u>D</u>)
レイヤ(1)	フォーマット設定(⊻)
書体(S)	
閉じる 変換設定	四 ヘルゴ(出)

現在使用中のパラメータを変換設定で確認します。

本场融合	指定ボタンを押すことで、現在使
_ DWG/DXE → FXII	用しているパラメータが選択状態
変換パラメータファイル名	、で確認できます
C:¥Documents and Settings¥furui¥Local Settings¥ 指定(A)	
FXII図面テンプレートファイル名	
	<u>余(E)</u>
アメロ→ Dwg/DXF 変換パラメータファイル名	
C:¥Documents and Settings¥furui¥Local Settings¥ 指定(F)	
AutoCAD図面テンプレートファイル名	
1111111111111111111111111111111111111	€ <u>(B)</u>
更新 キャンセル へ	ルゴ田

変換パラメータが確認できましたら、キャンセルボタンで変換設定から抜けてください。 指定ボタンをクリックし、パラメータファイルを選択し、開いてください。

パラメータファイル設定[DWG/DXF] 🛛 🔀				
┌ 編集パラメータファイル名 ―――				
履歴(Y 指定(B) 登録(E)				
色心	座標(<u>O</u>)			
線幅(₩)	モード(<u>M</u>)			
線種(<u>P</u>)	寸法線(<u>D</u>)			
レイヤ(1)	フォーマット設定(1)			
書体(S)				
閉じる 変換設定	ℚ へルプ(H)			

開くと、9つの下の設定ボタンが押せる状態となります。

パラメータファイル設定[DWG/DXF] 🛛 🔀	
編集パラメータファイル名 ↓ANDOR¥CADSUPER¥FX2DWG(黒)サミー様.PRM	
履歴Y) 指定(R) 登録(E)	座標をクリックします
色 <u>(c)</u> 座標(0)	
線幅(<u>W)</u> モード(<u>M</u>)	
線種(P) 寸法線(D)	
レイヤ(1) フォーマット設定(1)	
書体(S)	
開じる 変換設定 … ヘルプ(H)	

[FX II →AutoCAD]タブ	を開きます。
--------------------	--------

座標設定 🔀	
AutoCAD -> FXII FXII -> AutoCAD	
原点補正 ————————————————————————————————————	
● 絕対原占(A)	
○相対原点(R)	
○任意点(8)	
★座標⊗: 0.000000	
⋎座標(): 0.000000	
チェックが	入っている
座標鋪正	
✓ レイヤ縮尺で座標補正(L)	
一種維備(S)	
OK キャンセル ヘルプ	

OK ボタンで保存して、ダイアログを閉じていきます。

- 2. FX II → DXF/DWG 変換します。
- 3. DXF/DWG→FXIで開きます。
- 寸法線は FX II で書き出しまま、読み込まれますが、DXF 保存したときにレイヤは縮尺 1/1 以外の場合、 座標補正され、5/1 の場合、形状は 5 倍されます。

《結論》

FXⅡ→DXF/DWG 変換する場合、座標設定のレイヤ縮尺で座標補正のチェックを外して使用することをお奨めいたします。

5/1 縮尺で作成されていましたら、1/1 で変換されます。

但し、図面枠レイヤが 1/1 で作図レイヤが 5/1 の場合、DXF/DWG データを開きますと、全てのレイヤが 1/1 となりますので、形状が図面よりはみ出してしまします。